

見どころ案内

2016年9月3日

通巻第297号

レンブ (フトモモ科)

マレー半島原産で、亜熱帯から熱帯で栽培されており、ベルのような白色の果実がついています。味はリンゴとナシをあわせたような感じで、生食で食します。

変化朝顔展

葉や花が変わった形をしているなどの、当園の誇る古典園芸植物のひとつ「変化朝顔」を展示しています。

9月3日(土)~11日(日)

バルボフィルム の仲間

(ラン科)

受粉のために昆虫を誘うよう仕組まれた花を咲かせております。じっと見ているだけではわかりませんが、そっと息を吹きかけてください。秘密が見られます。

大温室改修 のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

盛夏に咲く草花

カスケードの花壇には酷暑の夏にも咲き続けるペンタス、アンゲロニア、松葉ボタン、コンテナにはサンパティエンス、紫の葉色でカラフルな果実をつける五色トウガラシなど花の少なくなるこの時期にも楽しむことができる花壇材料を紹介しています。

ハス (ハス科)

インドとその周辺を原産地とする植物で、水面より高く葉や花をつけます。葉には撥水性があり、水玉が転がっていく様は見ても飽きません。

ポポー(バンレイシ科)

大きな葉の間にふっくらした俵型の緑色の果実がぶら下がっています。北アメリカ原産の果樹で、とってもクリーミーな果実です。各地の産直で売られている姿を見かけます。

ロウヤガキ (カキノキ科)

みもの実物盆栽に仕立てられた姿をよく拝見します。今年は特に多く結実しました。

なお、まだ色付いていません。御了承下さい。

秋の七草

ハギ園の植栽を見直し、ハギのみではなくキキョウ、オミナエシといった秋の七草のほか、マメ科の植物を見られる植栽にリニューアルしております。

ムラサキナツツジ と アメリカノウゼンカズラ

この盛夏期に長くツルを伸ばしつつ長期間花盛りとなります。

季節の花さんぽ展

過去5年間、ボランティアが実施して来た「季節の花さんぽ」の内容を写真・パネルなどで展示しています。毎月第二火曜日と第四土曜日にテーマを決めて園内の見頃や珍しい植物などを案内していますので、是非そちらにも御参加してください。
9月3日(土)~15日(木)

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が昼間でも咲いています。ツルは屋上まで到達して、高さ10m、幅25mの巨大カーテンとなっています。

